

Bridge ~市民病院と地域をつなぐ~

— 目 次 —

○トピックス

- 1 登録医紹介コーナーを設置します
- シリーズ チーム医療③
認知症サポートチーム
- 腎臓内科からのお知らせ
- 医療安全管理室からのお知らせ

vol.7

2019.12.20

発行：豊橋市民病院 患者総合支援センター

【トピックス1】

登録医紹介コーナー(デジタルサイネージ)を設置します

この春より、登録医を紹介するコーナーを新たに設置します。

当院に来院した患者さんへ、地域の医療機関の紹介を行い、最寄りの医療機関を知ってもらうと共に「かかりつけ医」や「地域医療連携」の理解を促進する情報を合わせて放映します。

また患者さんがかかりつけ医をきめるために医療機関名・診療科・地図などから簡単に検索できるタッチパネルも併せて設置します。

設置時期 令和2年3月
設置場所 改修後の入退院支援センター
(現在のエコー検査室)前



※イメージ写真

がん診療フォーラムのお知らせ

★第71回豊橋がん診療フォーラム

『 進行・再発乳がん治療における初めての免疫チェックポイント阻害剤
テセントリクを適切に用いるために ~チームで取り組むirAE対策~ 』
広島市立広島市民病院 乳腺外科主任部長 大谷 彰一郎 先生

日 時: 令和2年1月16日(木) 17:45~19:20

場 所: 診療棟 3階 講堂

★ 第72回豊橋がん診療フォーラム

『 最新の腎癌薬物治療 (仮) 』
埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 准教授 城武 卓 先生

日 時: 令和2年3月19日(木) 17:45~19:20

場 所: 診療棟 3階 講堂

地域の医療従事者の方ならどなたでもご参加いただけます。

※詳細は、別途ご案内させていただきます。

認知症サポートチームの紹介

DSTとは「dementia support team (認知症サポートチーム)」の略で認知症について専門性の高い医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・臨床検査技師・医療ソーシャルワーカーなどによる多職種連携チームです。ただし、当院のような急性期病院では、認知症患者さんの「認知症」に直接対応することは比較的少なく、どんな方にも起こり得る「せん妄」への対応が多くなります。

DDST(dementia and delirium support team)という呼び方をしている施設もあります。

「認知症」という病名や状態、あるいは認知症状態の患者さんに対する「偏見」のようなものが世の中や一部スタッフの間にもいまだにあるため、その意識をまずは病院スタッフから変えていけたら、という思いもあります。認知症患者さんへの対応は、ユマニチュードケアを含め「その人らしさを活かす」ということが基本であり、これはすべての患者さん対応についても基本といえます。



脳神経内科部長
岩井 克成

◎活動内容

1. スクリーニング

認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上(ただしJCS-30以上、GCS8点以下の状態にあるものを除く)の患者

2. 病棟ラウンド

上記スクリーニング患者さんおよび各病棟からの要請患者さんを毎週火曜日14時からラウンドしています。

※2019年秋の1回当たりの平均患者数は、15名前後です(カルテ回診も含む)

◎認知症研修会(年3回)

これまでは、こんなレクチャーがありました。

「認知症を持つ人への理解と支援」日本福祉大学 来島修志先生

「若年性認知症とともに生きる人々の支援」

愛知県若年性認知症総合支援センター 山口喜樹先生 ほか

◎ラウンドでの対応内容

夜間不眠・せん妄による大声、暴言、転倒

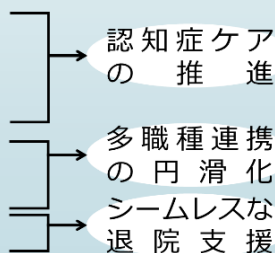
点滴ルート、ドレーンなどの自己抜去行動

認知症の診断あるいはせん妄状態についてのアドバイス

使用薬剤についての提言

リハビリテーション介入についての提言ほか

- ・真の欲求の理解
- ・認知症症状への対応
- ・生活リズム不調・不快・疼痛など苦痛への対応
- ・リハビリテーションの活用
- ・緩和ケアチーム・NSTへの相談
- ・地域情報の活用
- ・入院早期からの退院支援



ケアの質を高める

- ・真の欲求・苦痛に対するケア
- ・必要な治療を受けるための支援
- ・その人らしさの継続
- ・元の生活に戻るための支援

おかげ様で本連載も3回目となりました。今回は、腎不全の診療に際し、エコーの活用をお勧めしたいと思います。

ご存知のとおり、エコーは、多発性嚢胞腎と水腎症(腎後性腎不全)の診断に威力を発揮いたします。

CKD(慢性腎臓病)患者に、両側性の多発性嚢胞腎(両腎の各々3個以上の嚢胞)が見つかった際は、常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)の可能性がありますので、至急腎臓内科へご紹介下さい。近年のADPKDの診断と治療の進歩には、目を見張るものがあります。最近では、トルバプタンの有効性が確認され、早期から専門医の介入が期待されております。ADPKDの診断と治療については、次回、もう少し詳しくご紹介したいと思います。

腎後性腎不全は、AKI(急性腎障害)の病因として有名ですが、緩徐に進行してCKDの病因となる場合もあります。(CKDの際は、通常、痛みなどの自覚症状はありません)個人的にも、腎後性腎不全によるCKDは、まれに経験いたします。AKIあるいはCKDのいずれにせよ、尿路の物理的な閉塞や狭窄が考えられますので、腎不全患者に水腎症を見つけれられましたら、まずは泌尿器科へご紹介下さい。

以上、腎不全患者をご紹介頂く前に、余裕がございましたら、エコーの活用をお願い致します。



多発性嚢胞腎



水腎症

医療安全管理室の紹介

医療安全管理室は、医師、看護師、事務、警察OBと、兼務の薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、言語聴覚士、臨床工学技士の総勢13名で構成された多職種チームです。主な業務は、医療安全の推進及び体制整備、医療事故防止対策の策定及び周知、医療事故に関する原因究明などです。

また、医療安全対策が適切に実施されているか確認するため、監査チームによる院内監査も年2回実施しています。

“患者さんにとって安全な医療を提供する”という目標に向かって、多職種が**ONE TEAM**となり、日々奮闘しています。



医療安全推進週間の取り組み



院内講習会の様子

安全な医療の提供のために、医療に従事する者の意識や能力の向上も欠かせません。当院では、医療法に基づいた全職員対象の医療安全講習会を開催しています。

今回は2月に当院**医療安全管理室長**の河井通泰副院長を講師とし、今年度に院内で発生した事例などを題材に行います。興味のある方は、是非ご参加ください。

<お知らせ>

医療安全講習会 「今、当院で何が起きているか!?!」

日時：令和2年2月12日（水）17時30分～18時30分

場所：豊橋市民病院 診療棟3階 講堂

***この研修は日本専門医機構認定共通講習です。**



この広報誌に関するご意見・ご要望は下記へお寄せください

豊橋市民病院 患者総合支援センター

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL (0532)33-6111(代) 内線1491

FAX (0532)33-6230